

(2) 産業

1) 産業構造

産業別就業者数は表-3.2.1.3に示すように、名護市、宜野座村ともに第三次産業が最も多く、その中でも、名護市は卸売・小売業・飲食店が、宜野座村はサービス業が多くを占めています。

表-3.2.1.3 産業別就業者数

単位：人、(%)

分類		名護市	宜野座村
第一次産業	農業	1,778(7.4)	360(15.5)
	林業	50(0.2)	2(0.1)
	漁業	150(0.6)	59(2.5)
	小計	1,978(8.3)	421(18.1)
第二次産業	鉱業	65(0.3)	- (-)
	建設業	2,661(11.1)	295(12.7)
	製造業	1,191(5.0)	85(3.7)
	小計	3,917(16.4)	380(16.3)
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	105(0.4)	21(0.9)
	情報通信業	212(0.9)	16(0.7)
	運輸・通信業	850(3.6)	78(3.4)
	卸売・小売業・飲食店	3,814(15.9)	208(8.9)
	金融・保険業	307(1.3)	19(0.8)
	不動産業	147(0.6)	6(0.3)
	飲食店・宿泊業	2,258(9.4)	156(6.7)
	医療・福祉	3,383(14.1)	312(13.4)
	教育・学習支援業	1,827(7.6)	142(6.1)
	総合サービス事業	426(1.8)	47(2.0)
	サービス業(他に分類されないもの)	3,441(14.4)	357(15.4)
	公務(他に分類されないもの)	938(3.9)	162(7.0)
	分類不能の産業	322(1.3)	- (-)
小計	18,030(75.4)	1,524(65.5)	
合計	23,925(100.0)	2,325(100.0)	

注1：表中の数値は平成17年10月1日現在

注2：()内は全就業者数に対する割合

注3：総数には、「分類不能の産業」を含む

資料：「第51回 沖縄県統計年鑑 平成20年版」平成20年10月、沖縄県統計協会

2) 農業

農家戸数は表-3.2.1.4に示すように、名護市では専業農家が50%以上を占めていますが、宜野座村では兼業農家が50%以上を占めています。

表-3.2.1.4 農家戸数

単位：戸

市町村	総農家戸数	専業農家戸数	兼業農家戸数		
			第1種兼業	第2種兼業	合計
名護市	919(100.0)	475(51.7)	219(23.8)	225(24.5)	444(48.3)
宜野座村	237(100.0)	74(31.2)	81(34.2)	82(34.6)	163(68.8)

注1：平成16年12月1日現在

注2：「兼業農家」とは、世帯員の兼業従事者が1人以上いる農家。「第1種兼業農家」とは農業所得を主とする兼業農家で、「第2種兼業農家」とは農業所得を従とする兼業農家。

注3：()内数字は総農家戸数に対する割合

資料：「第51回 沖縄県統計年鑑 平成20年版」平成20年10月、沖縄県統計協会

耕地面積は表-3.2.1.5に示すように、名護市、宜野座村ともに横這いとなっています。

表-3.2.1.5 耕地面積の推移

単位：ha

	年	合計	田	畑			
				小計	普通畑	樹園地	牧草地
名護市	平成15年	1,500	32	1,460	1,070	361	30
	平成16年	1,430	31	1,400	997	374	31
	平成17年	1,460	29	1,430	1,020	375	31
	平成18年	1,460	29	1,430	1,020	373	35
	平成19年	1,450	30	1,420	…	…	…
宜野座村	平成15年	468	0	468	385	42	41
	平成16年	467	0	467	378	46	43
	平成17年	467	0	467	380	44	43
	平成18年	467	0	467	384	44	39
	平成19年	465	0	465	…	…	…

注1：19年から畑の種類別の地域・市町村別とりまとめは行っていない。

注2：「…」事実不詳又は調査を欠くもの

注3：「0」単位に満たないもの

資料：「第32～36次沖縄農林水産統計年報」内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課

農業産出額及び生産農業所得は表-3. 2. 1. 6 に示すように、農業産出額は、名護市、宜野座村ともに畜産の鶏が最も多くなっています。また、生産農業所得は、名護市が 29 億 1 千万円、宜野座村が 6 億 2 千万円となっています。

表-3. 2. 1. 6 農業産出額及び生産農業所得(平成18年)

単位：一千万円

分 類		名護市	宜野座村
耕 種	米	3	x
	雑穀・麦類・豆類	-	-
	いも類	4	5
	野菜	63	13
	果実	88	17
	パイナップル	21	3
	花き	108	21
	工芸農作物	58	13
	サトウキビ	54	13
	葉たばこ	-	-
	その他	15	x
	小 計	338	70
	畜 産	肉用牛	21
乳用牛		x	x
生乳		x	x
豚		96	21
肉 豚		91	21
鶏		186	29
鶏卵		117	29
ブロイラー		x	-
その他畜産物		x	x
小 計		309	71
加工農産物	1	-	
合 計	647	140	
生産農業所得	291	62	

注1：表中のxは秘匿数値

注2：「-」事実のないもの

注3：「0」単位に満たないもの

資料：「第36次沖縄農林水産統計年報」平成20年3月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課

3) 林業

林業労働力の年齢階層別作業員数は表-3.2.1.7 に示すように、作業員数は、年々減少の傾向にありましたが、平成19年は増加しています。

表-3.2.1.7 林業労働力の年齢階層別作業員数

単位：人

年	29歳以下			30～39歳			40～49歳			50～59歳			60歳以上			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成15年	72	0	72	47	1	48	84	2	86	75	0	75	28	3	31	306	6	312
平成16年	53	1	54	40	0	40	75	1	76	59	1	60	33	0	33	260	3	263
平成17年	19	0	19	16	1	17	30	2	32	30	0	30	5	2	7	100	5	105
平成18年	13	0	13	8	0	8	22	0	22	24	2	26	4	3	7	71	5	76
平成19年	20	0	20	32	0	32	53	1	54	54	1	55	19	0	19	178	2	180

注：沖縄北部森林組合は国頭村を除く沖縄島北部地域11市町村で構成されています。

資料1：「沖縄の森林・林業(平成16年版)」平成16年12月、沖縄県農林水産部林務課・みどり推進課

2：「沖縄の森林・林業(平成17年版)」平成17年12月、沖縄県農林水産部森林緑地課

3：「沖縄の森林・林業(平成18年版)」平成18年10月、沖縄県農林水産部森林緑地課

4：「沖縄の森林・林業(平成19年版)」平成19年12月、沖縄県農林水産部森林緑地課

5：「沖縄の森林・林業(平成20年版)」平成20年12月、沖縄県農林水産部森林緑地課

4) 水産業

漁業経営体数は表-3.2.1.8 に示すように、名護市では兼業経営が多く、宜野座村では専業経営が多くなっています。

表-3.2.1.8 漁業経営体数

単位：経営体数

	漁業 経営体数	個人経営体数			その他の 経営体数
		計	専業	兼業	
名護市	121	117	57	60	4
宜野座村	57	56	31	25	1
沖縄県	3,243	3,184	1,143	2,041	59

注：表中の数値は平成15年11月1日現在

資料：「第51回 沖縄県統計年鑑 平成20年版」平成20年10月、沖縄県統計協会

漁業種別漁獲量及び生産額は表-3.2.1.9に示すように、名護市では漁獲量、生産額ともに沿岸いか釣が多くなっています。宜野座村では漁獲量、生産額ともにその他の釣(一本釣)が多くなっています。

表-3.2.1.9 漁業種別漁獲量及び生産額(平成18年)

単位：t、百万円

	名護市		宜野座村	
	漁獲量	生産額	漁獲量	生産額
その他の刺網	32	25	4	3
その他の敷網	-	-	-	-
追込み網	-	-	-	-
大型定置網	-	-	x	x
小型定置網	16	11	-	-
その他の網漁業(建干し網)	-	-	-	-
遠洋まぐろはえ縄	x	x	x	x
近海まぐろはえ縄	x	x	x	x
沿岸まぐろはえ縄	56	29	-	-
その他のはえ縄	2	2	-	-
近海かつお一本釣	x	x	x	x
沿岸かつお一本釣	-	-	-	-
沿岸いか釣	167	100	8	5
ひき縄釣(ひき縄)	46	23	x	x
その他の釣(一本釣)	5	3	19	9
潜水器漁業	9	7	15	16
採貝	x	x	-	-
採藻	5	1	-	-
その他の漁業	107	97	3	2
計	493	311	136	84

注1：「-」は事実のないもの

注2：「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの

注3：統計数値は、原則として四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。

資料：「第36次沖縄農林水産統計年報」平成20年3月、内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課

5) 工業

工業の状況は表-3.2.1.10 に示すように、名護市の事業所数及び従業者数は、窯業・土石製品製造業が最も多くなっています。宜野座村では窯業・土石製品製造業がみられます。

表-3.2.1.10 工業の状況

単位：事業所、人、万円

業種区分	名護市			宜野座村		
	事業所数	従業者数	生産額	事業所数	従業者数	生産額
食料品製造業	16	329	196,877	-	-	-
飲料・たばこ・飼料製造業	7	390	2,166,747	-	-	-
繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	1	6	x	-	-	-
衣服・その他の繊維製品製造業	1	11	x	-	-	-
木材・木製品製造業(家具を除く)	-	-	-	-	-	-
家具・装備品製造業	1	4	x	-	-	-
パルプ・紙、紙加工品製造業	-	-	-	-	-	-
印刷・同関連産業	3	13	-	-	-	-
化学工業	1	8	x	-	-	-
石油製品・石炭製品製造業	-	-	-	-	-	-
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	1	54	x	-	-	-
ゴム製品製造業	-	-	-	-	-	-
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-
窯業・土石製品製造業	17	393	640,883	1	11	x
鉄鋼業	-	-	-	-	-	-
非鉄金属製造業	-	-	-	-	-	-
金属製品製造業	9	99	67,238	-	-	-
一般機械器具製造業	-	-	-	-	-	-
電気機械器具製造業	-	-	-	-	-	-
情報通信機械器具製造業	-	-	-	-	-	-
電子部品・デバイス製造業	-	-	-	-	-	-
輸送用機械器具製造業	-	-	-	-	-	-
精密機械器具製造業	-	-	-	-	-	-
その他の製造業	-	-	-	-	-	-
パイナップル缶詰製造業	-	-	-	-	-	-
砂糖製造業	-	-	-	-	-	-
合計	57	1,307		1	11	

注1：表中の数値は平成19年12月31日現在

注2：xは秘匿数値

注3：- は皆無または該当数字のない場合

資料：「平成19年 沖縄県の工業(工業統計調査)」平成21年3月、沖縄県企画部統計課 沖縄県統計資料Webサイト

6) 商業

商業の状況は表-3.2.1.11に示すように、名護市、宜野座村では事業所数、従業者数及び年間商品販売額とも、小売業の飲食料品小売業が最も多くなっています。

表-3.2.1.11 商業の状況(平成19年)

単位：店、人、万円

区 分	名 護 市			宜野座村		
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額
卸売業計	118	774	2,455,112	3	7	8,190
各種商品卸売業	1	4	x	-	-	-
繊維・衣料等卸売業	-	-	-	-	-	-
飲食料品卸売業	48	286	879,953	3	7	8,190
建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	25	233	x	-	-	-
機械器具卸売業	26	163	467,731	-	-	-
その他の卸売業	18	88	208,094	-	-	-
小売業計	714	3,678	5,278,621	49	175	198,943
各種商品小売業	2	135	x	-	-	-
織物・衣服・身の回り品小売業	73	225	232,129	1	1	x
飲食料品小売業	292	1,651	2,131,950	27	90	66,052
自動車・自転車小売業	42	212	x	2	4	x
家具・じゅう器・機械器具小売業	62	246	281,266	1	2	x
その他の小売業	243	1,209	2,028,670	18	78	x
合計	832	4,452	7,733,733	52	182	207,133

注1：表中の数値は平成19年6月1日現在

注2：xは秘匿数値

資料：「平成19年沖縄県の商業(商業統計調査)」平成21年1月、沖縄県企画部統計課

3.2.2 土地利用の状況

(1) 土地利用

土地利用の状況は図-3.2.2.1に示すとおりです。

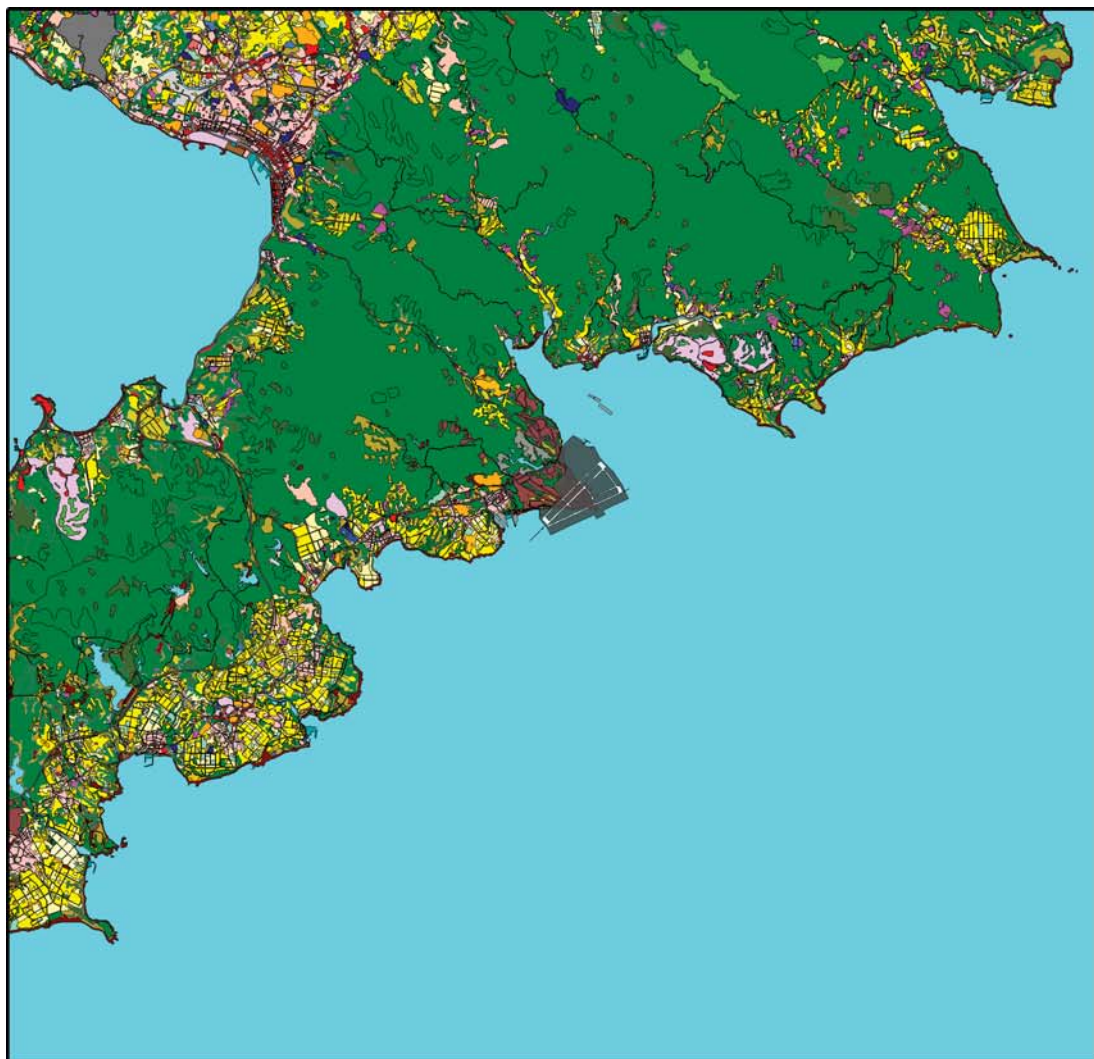
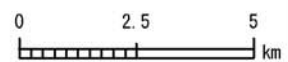
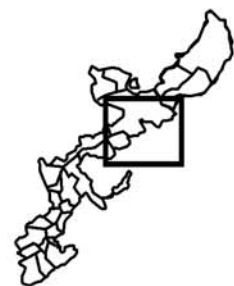


図-3.2.2.1 土地利用現況

■：代替施設	■：作業ヤード等	
■：一般住宅地域	■：空地	■：針葉樹林(人工林)
■：中高層住宅地域	■：改変工事中の地域	■：針葉樹林(天然林)
■：商業地区	■：田	■：広葉樹林
■：業務地区	■：普通畑	■：混交樹林
■：工業地区	■：サトウキビ畑	■：竹林
■：公共業務地区	■：果樹園	■：しゅろ科樹木
■：文教地区	■：パイナップル畑	■：アダン林
■：厚生地区	■：桑畑	■：しの地
■：公園緑地	■：茶畑	■：野草地
■：運動競技施設	■：その他の樹木畑	■：裸地
■：運輸流通施設	■：牧場・牧草地	■：道路
■：供給処理施設	■：畜舎	■：海・ダム・池など
■：防衛施設	■：温室	■：その他



資料1：「沖縄県土地利用現況図 北部地域」平成12年3月、沖縄県
 2：「沖縄県土地利用現況図(名護市街地以南)」平成19年3月、沖縄県

1) 地目別民有地面積

地目別民有地面積は表-3.2.2.1 に示すように、名護市では山林が総地積の約33%を占め、宜野座村では畑が総地積の約56%を占めています。

表-3.2.2.1 地目別民有地面積

平成19年1月1日現在 単位：㎡

市町村	総数	田	畑	宅地	山林	原野	その他
名護市	89,208,396	1,943,309	23,821,628	7,214,307	29,569,900	15,638,397	11,020,855
宜野座村	9,859,974	0	5,487,743	794,266	0	2,217,388	1,360,577

注1：固定資産税課税対象の評価総地積

注2：その他には、池沼、牧場、雑種地等が含まれます。

資料：「第51回 沖縄県統計年鑑 平成20年版」平成20年10月、沖縄県統計協会

2) 森林面積

表-3.2.2.2 に示すように、森林率は名護市、宜野座村とも50%以上ですが、国有林はなく、市町村有林が総面積の多くを占めています。

表-3.2.2.2 森林面積

面積：ha、率：%

市町村名	総面積	森林面積					耕地	その他	森林率	
		森林面積合計	林野庁所管 国有林	県有林	市町村 有林	私有林				
名護市	面積	21,029	13,673	-	1,380	7,480	4,813	1,460	5,896	65
	率(対市)	(100)	(65.0)	-	(6.6)	(35.6)	(22.9)	(6.9)	(28.0)	
宜野座村	面積	3,132	1,557	-	0	1,418	139	467	1,108	50
	率(対村)	(100)	(49.7)	-	(0.0)	(45.3)	(4.4)	(14.9)	(35.4)	
沖縄県	面積	227,516	105,264	31,523	5,519	42,683	25,538	39,219	83,033	46
	率(対県)	(100)	(46.3)	(13.9)	(2.4)	(18.8)	(11.2)	(17.2)	(36.5)	

注：()内数値は総面積に対する各区分面積の割合

資料：「沖縄の森林・林業(平成20年版)」平成20年12月、沖縄県農林水産部森林緑地課

3) 米軍施設

表-3.2.2.3 及び図-3.2.2.2 に示すとおり、名護市及び宜野座村における米軍施設面積はそれぞれ2,334.7ha、1,586.5haで、この合計は沖縄県における米軍施設全面積の16.6%となっています。

表-3.2.2.3 米軍施設の状況

単位：ha、割合%

市町村名	市町村面積	施設面積	市町村面積に占める割合	全施設に占める割合
名護市	21,029	2,334.7	11.1	9.9
宜野座村	3,132	1,586.5	50.7	6.7
沖縄県	227,528	23,301.5	10.2	100.0

注：市町村面積は国土地理院の資料(平成18年10月1日現在)による。

但し、境界未定部分については、平成19年度普通交付税の算定に用いる市町村面積の協定によって確定。

施設面積は沖縄防衛局の資料(平成19年3月末現在)による。

資料：「沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料集)」平成20年3月、沖縄県知事公室基地対策課

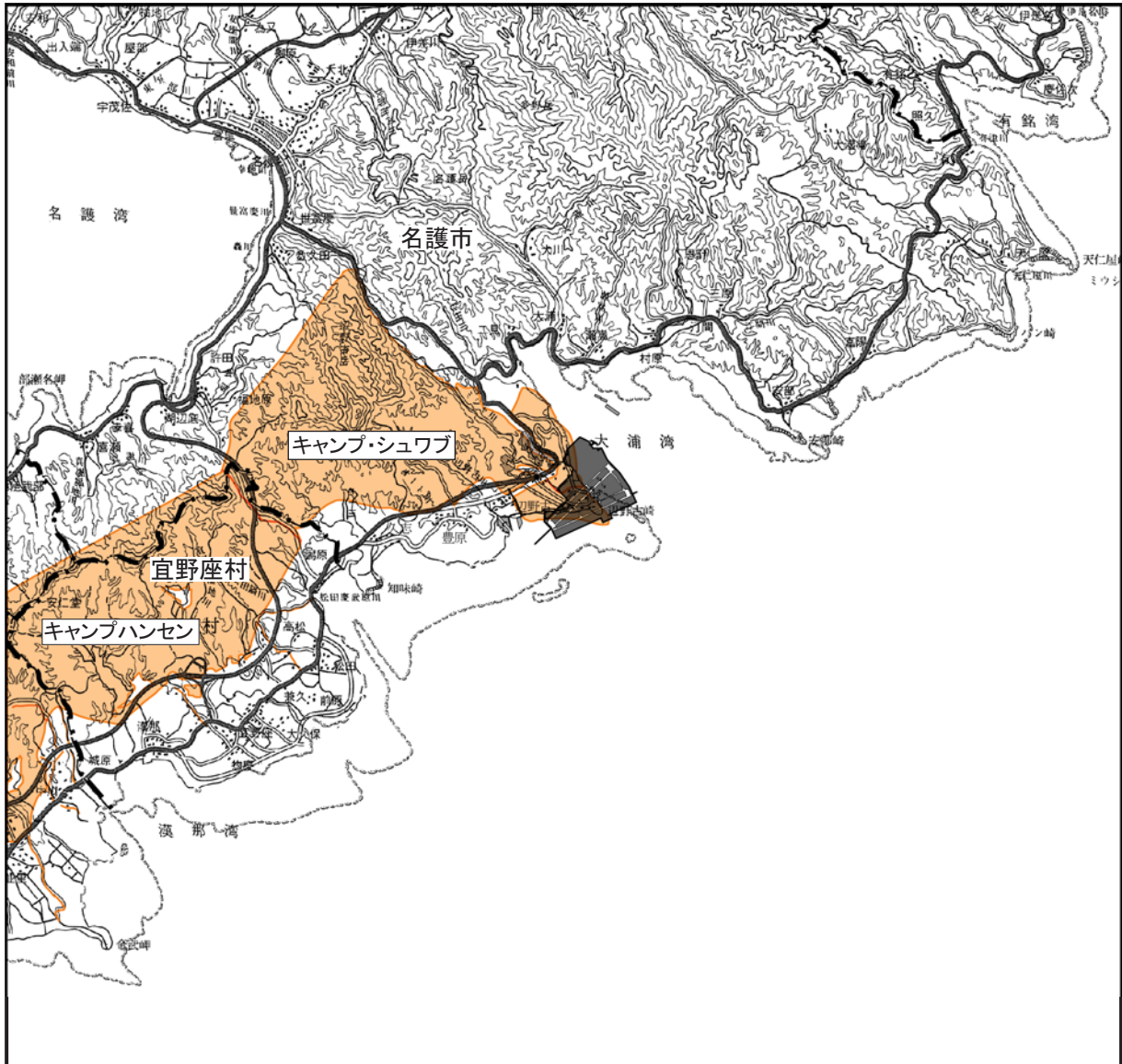




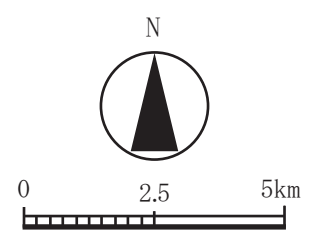
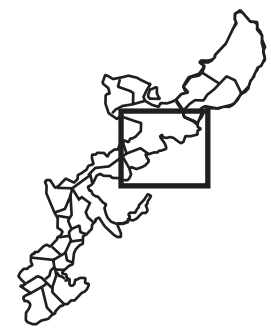


図-3.2.2.2 名護市辺野古沿岸域周辺の米軍基地

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界
-  : 海兵隊



資料：「沖縄防衛局管内防衛施設図」
 (平成20年4月1日現在、沖縄防衛局)に基づき作成

(2) 土地利用規制

名護市及び宜野座村には表-3.2.2.4 及び図-3.2.2.3 に示すように、都市計画法をはじめとする各法令による土地利用の規制がなされています。

表-3.2.2.4 土地利用規制の状況

平成16年4月1日現在

該当法令	区域	名護市	宜野座村	
都市計画法 (昭和43年法律第100号)	都市計画区域	21,024ha	-	
	用途地域	707ha	-	
	風致地区	45.4ha	-	
農業振興地域の整備に関する法律 (昭和44年法律第58号)	農業振興地域	11,781ha	1,585ha	
	農用地区域	4,429ha	760ha	
森林法 (昭和26年法律第249号)	森林地域	13,672ha	1,557ha	
	国有林	-	-	
	県有林	1,380ha	0	
	市町村有林	7,480ha	1,418ha	
	私有林	4,813ha	139ha	
保安林	1,279ha (200)	44ha		
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	344.5a	-	
地すべり等防止法 (昭和33年法律第30号)	地すべり防止区域	-	-	
海岸法 (昭和31年法律第101号)	海岸保全区域	港湾局所管	305,805m ²	9,250m ²
		河川局所管	2,482,695m ²	166,701m ²
		農村振興局	1,683,040m ²	310,540m ²
		水産庁所管	184,200m ²	28,400m ²
港湾法 (昭和25年法律第218号)	港湾区域(海域)	運天港	金武湾	
	港湾隣接地域	9.36ha	-	
漁港法 (昭和25年法律第137号)	漁港区域(海域)	196ha	35ha	

注：森林法の()は上位の保安林種との兼種指定を外書きで示しました。

資料：「沖縄県土地利用規制現況図説明書」平成17年3月、沖縄県

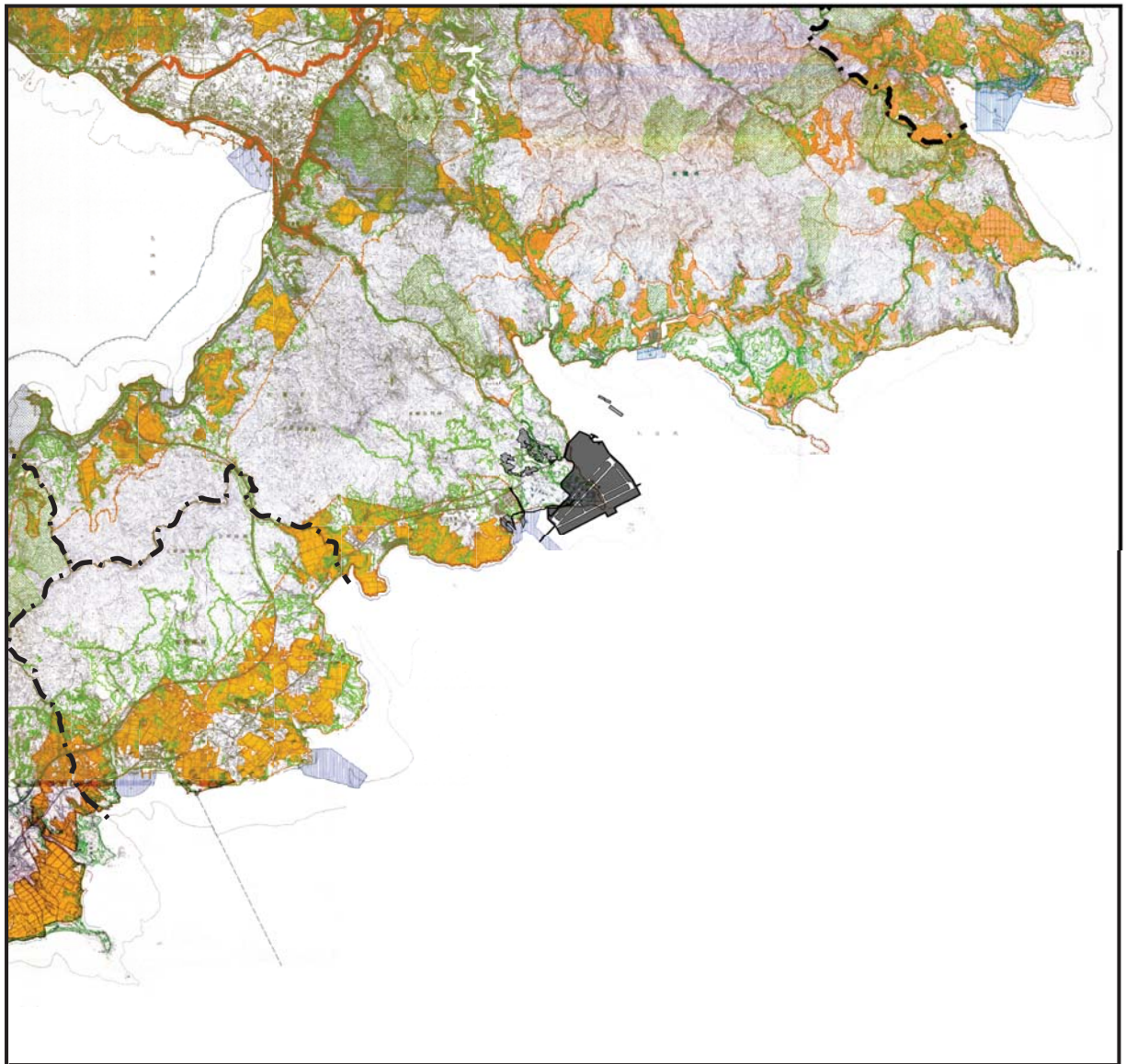



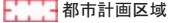

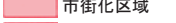

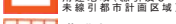



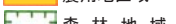
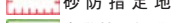

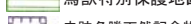


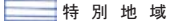



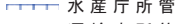


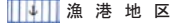

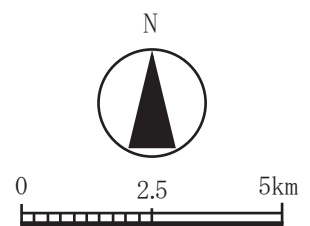
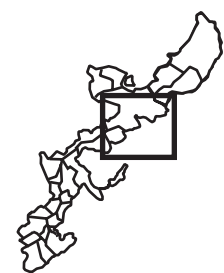


図-3. 2. 2. 3 土地利用規制現況

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界

- | | | |
|---|---|--|
|  都市計画区域 |  海中公園地区 | |
|  市街化区域 |  自然環境保全地区 | |
|  用途地域(線引及び未線引都市計画区域) |  特別地区 | |
|  農業振興地域 |  風致地区 | |
|  農用地区域 |  砂防指定地 | |
|  森林地域 |  鳥獣特別保護地区 | |
|  保安林 |  ● 史跡名勝天然記念物 | |
|  自然公園地域 |  ◻ 埋蔵文化財包蔵地 | |
|  特別地域 | | |
-
- | | |
|---|---|
| |  海岸保全区域 |
|  水産庁所管 |  運輸省所管 |
|  建設省所管 |  農林構造改善局所管 |
| |  漁港地区 |



資料：「沖縄県土地利用規制現況図」平成17年3月、沖縄県企画開発部

3.2.3 河川、海域の利用並びに地下水の利用の状況

(1) 河川の利用

1) 取水口の状況

表-3.2.3.1 及び図-3.2.3.1 に示すとおり、主要二級河川の2水系・2河川における取水口は、主に農業用や水道用として利用されています。

表-3.2.3.1 河川の取水口の状況

単位：箇所

	水系名	河川名	農業用 取水口	水道用 取水口	工業用 取水口	合計
主要二級河川	汀間川	汀間川	7	3	-	10
	漢那福地川	漢那福地川	1	-	-	1

資料：「沖縄県主要水系調査書(沖縄本島中北部地域)」昭和63年3月、沖縄県企画開発部土地利用対策課

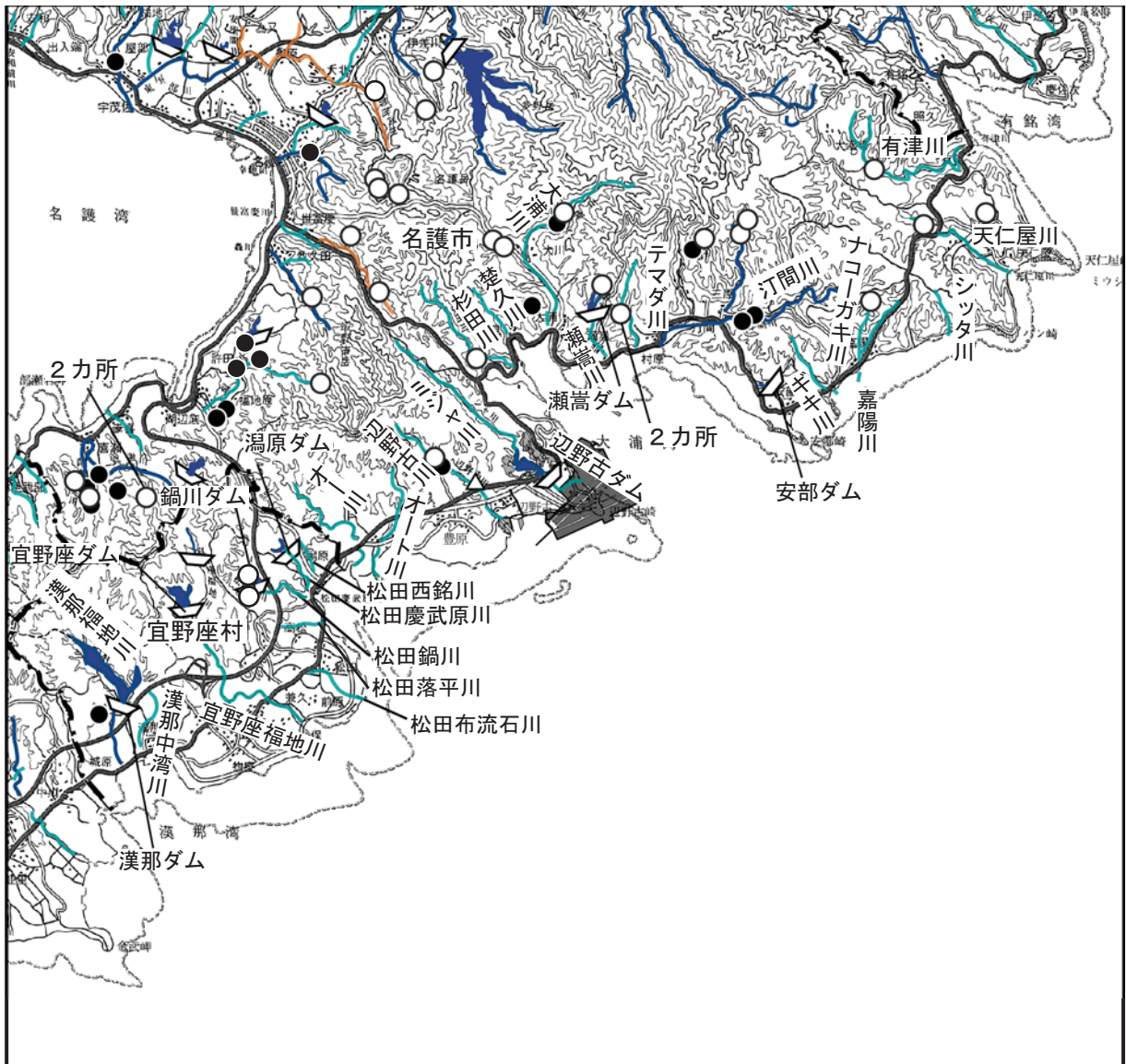

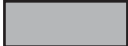








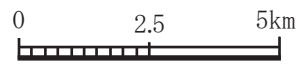
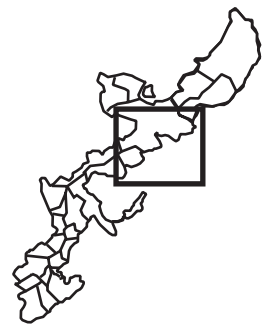


図-3.2.3.1 取水口の状況

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界
-  : 農業用取水口
-  : 工業用取水口
-  : 水道用取水口

-  : 二級河川
-  : 準用河川
-  : 普通河川
-  : ダム



資料1 : 「沖縄県主要水系調査書(沖縄本島中北部地域)」 昭和63年3月、
 沖縄県企画開発部土地利用対策課
 2 : 「宜野座村水道施設の位置」宜野座村役場水道課提供資料
 3 : 「名護市地形図」名護市役所水道課提供資料

2) ダムの利用

表-3.2.3.2に示すように、漢那福地川水系の漢那ダムが上水道として利用されています。

表-3.2.3.2 ダムの諸元

	ダム名	漢那ダム
	河川名	漢那福地川
	位置	国頭郡宜野座村字漢那
ダム	型式	重力式コンクリートダム
	堤高 (m)	45.0
	堤頂長 (m)	185.0
	堤体積 (10 ³ m ³)	72.0
貯水池	集水面積 (km ²)	7.6
	湛水面積 (km ²)	0.55
	総貯水容量 (10 ³ m ³)	8,200
	有効貯水容量 (10 ³ m ³)	7,800
	洪水調節容量 (10 ³ m ³)	1,150
	利水容量 (10 ³ m ³)	6,650

資料：「沖縄のダム」沖縄総合事務局開発建設部河川課

(2) 海域の利用

1) 港湾・漁港区域

名護市辺野古沿岸域側に位置する港湾及び漁港区域は、表-3.2.3.3～表-3.2.3.4及び図-3.2.3.2に示すとおりです。港湾は重要港湾の金武湾港の1港湾、漁港は汀間漁港など計4漁港があります。なお、名護市辺野古沿岸域近傍には辺野古漁港があります。

表-3.2.3.3 港湾の状況

港湾名	港種	所在地	面積(ha)	認可年月日
金武湾	重要港湾	金武町・うるま市 宜野座村	19,482	昭和49年4月23日 (重要港湾指定)

資料：「港湾概況」平成20年3月、沖縄県土木建築部港湾課

表-3.2.3.4 漁港の状況

区分	漁港名	所在地	指定年月日	備考
第一種漁港(県管理)	汀間	名護市	S63.6.13	
第一種漁港(市町村管理)	辺野古	名護市	S47.5.12	
	宜野座	宜野座村	H8.3.8	
	漢那	宜野座村	S46.3.26	







注1：表中の数値は平成20年1月1日現在

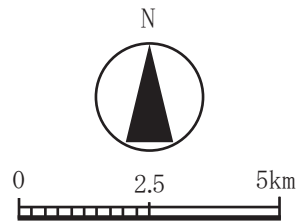
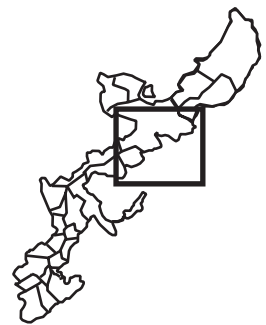
注2：第一種漁港：その利用範囲が地元の漁業を主とするもの

資料：「漁港・漁場概要(平成20年度)」平成20年6月、沖縄県農林水産部漁港漁場課



図-3.2.3.2 港湾及び漁港位置

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界
-  : 漁港区域(県管理)
-  : 漁港区域(市町村管理)
-  : 港湾区域



資料1 : 「港湾概況(2003年版)」沖縄県土木建築部港湾課
 2 : 「漁港・漁場概要(平成17年度)」平成18年1月、沖縄県農林水産部
 漁港漁場課

2) 漁業権設定区域

表-3.2.3.5～表-3.2.3.6 及び図-3.2.3.3 に示すとおり、名護市辺野古沿岸域周辺の海域には、共同第5号及び共同第7号の漁業権が設定され、同漁業権内ではモズク漁業、ウニ漁業等が行われています。

表-3.2.3.5 漁業権の免許内容(共同漁業権)

漁場番号	漁業権代表者	漁業種類	漁業の名称	漁場の位置
共同第5号	名護漁業協同組合	第一種 共同漁業	モズク漁業	名護市と東村との境界線から宜野座村と名護市との境界線に囲まれた沿岸水域
			ウニ漁業	
			イセエビ漁業	
			シャコガイ漁業	
			タカセガイ漁業	
			ヤコウガイ漁業	
			サザエ漁業	
第二種 共同漁業	固定式刺網漁業			
	建干網漁業			
共同第7号	宜野座村漁業協同組合 (共有権者 金武漁業協同組合 石川市漁業協同組合)	第一種 共同漁業	モズク漁業	名護市と宜野座村との境界線から具志川市と与那城町との境界線により囲まれた沿岸水域
			ヒジキ漁業	
			ウニ漁業	
			イセエビ漁業	
			シャコガイ漁業	
			ヒロセガイ漁業	
			タカセガイ漁業	
			バイガイ漁業	
			サザエ漁業	
			ヤコウガイ漁業	
			第二種 共同漁業	
		建干網漁業		
		かご網漁業		

資料：「漁業権の免許内容等(共同漁業権・区画漁業権)」平成15年9月1日、沖縄県農林水産部

表-3.2.3.6 漁業権の免許内容(特定区画・定置漁業権)

	漁場番号	漁業権者	漁業種類	漁業の名称	漁場の位置
特定区画漁業権	特区第94号	名護漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	名護市久志地先
	特区第112号	宜野座村漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	宜野座村字松田地先
	特区第113号	宜野座村漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	宜野座村字宜野座地先
	特区第114号	宜野座村漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	宜野座村字宜野座地先
	特区第115号	宜野座村漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	宜野座村字惣慶地先
	特区第116号	宜野座村漁業協同組合	第一種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	宜野座村字漢那地先

資料：「漁業権の免許内容等(特定区画漁業権・定置漁業権)」平成20年9月1日、沖縄県農林水産部

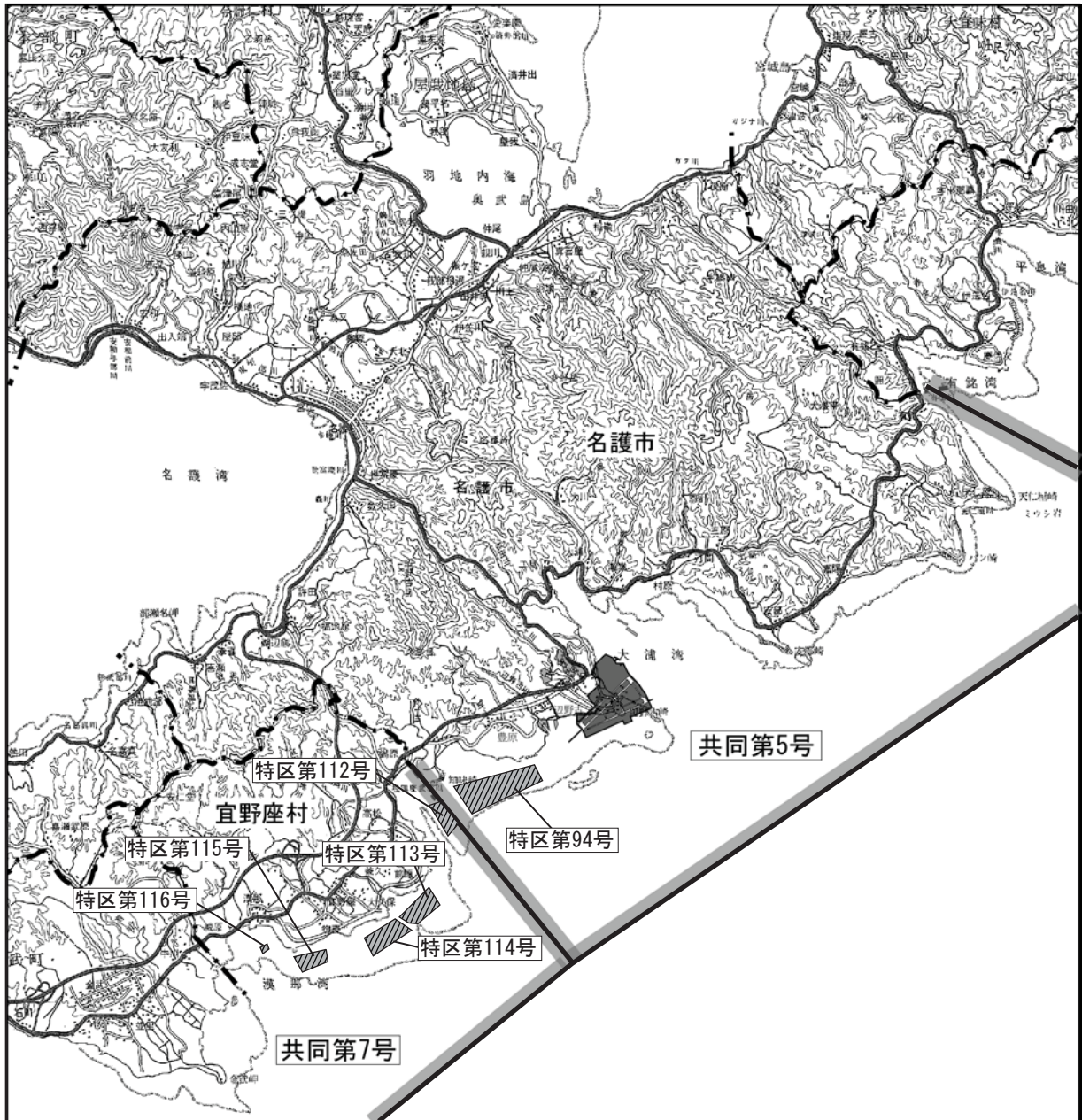
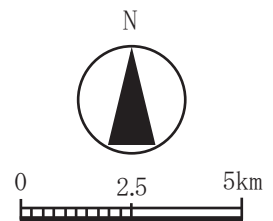
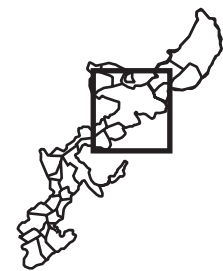


図-3.2.3.3 漁業権及び漁場

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界
-  : 特定区画漁業権・定置漁業権
-  : 共同漁業権

資料1：「漁業権の免許内容等(特定区画漁業権・定置漁業権)」平成20年9月1日、
 沖縄県農林水産部
 2：「漁業権の免許内容等(共同漁業権・区画漁業権)」平成15年9月1日、
 沖縄県農林水産部



3) 地下水の利用

井戸の利用状況は表-3.2.3.7及び図-3.2.3.4に示すとおり、名護市では35箇所中、農業用井戸が24箇所と最も多くなっています。また、宜野座村では農業用井戸の1箇所のみとなっています。

表-3.2.3.7 井戸利用状況







単位：箇所

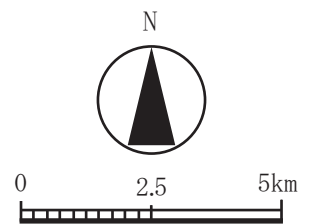
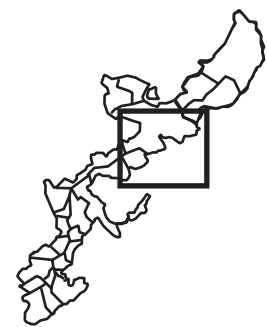
市町村名	農業用井戸	水道用井戸	工業用井戸	合計
名護市	24	5	6	35
宜野座村	1	0	0	1

資料：「沖縄県主要水系調査書(沖縄本島中北部地域)」昭和63年3月、沖縄県企画開発部土地利用対策課



図-3.2.3.4 井戸の利用状況

-  : 代替施設
-  : 作業ヤード等
-  : 市町村界
-  : 農業用井戸
-  : 水道用井戸
-  : 工業用井戸



資料1 : 「沖縄本島中北部地域 利水現況図1」昭和63年3月、沖縄県
 2 : 「沖縄本島中北部地域 利水現況図2」昭和63年3月、沖縄県
 3 : 「沖縄本島北部地域 利水現況図2」昭和61年12月、沖縄県